

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浅香山病院 一般科改築工事 病院	階数	地上6階、地下1階
建設地	大阪府堺市堺区今池町三丁目3番16号	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	223 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2011年9月1日
敷地面積	9,040 m ²	作成者	宮川和彦
建築面積	4,263 m ²	確認日	
延床面積	16,723 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 建物の耐震化及び診療環境の向上を目的とした浅香山病院一般科の全面改築工事であり、診療機能の進化に対応し、患者の居住性と病院スタッフの使い勝手に配慮した施設とする。		その他 0
Q1 室内環境 病室において大きな窓を標準的に設けることで、採光・換気に配慮した適切な環境の創出を図る。	Q2 サービス性能 間仕切りの大半を乾式とし、将来対応のフレキシビリティに対応した計画としている。また、維持管理や清掃性に配慮するために必要な諸室のスペースを確保をしている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物のボリュームを敷地の北東側に配置し、南西側は積極的に緑化したオープンスペースとしている。また、周囲の有形文化遺産の色彩をデザイン要素として継承することで、周辺施設との景観の調和に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明の利用や太陽熱利用等の省エネ計画を行い、環境負荷低減に努める計画としている。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器の使用やリサイクル材料の積極的な採用を行う。	LR3 敷地外環境 交通負荷の抑制等、敷地外環境へ悪影響を与えない計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	浅香山病院 一般科改築工事 病院本館	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区今池町三丁3番16号	2.0	A
	主用途/延床面積	病院 / 16,723.03 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.5	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.9	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.1	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.8	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	
外構部や屋上部の緑地整備	